

## ICP2016会場・展示委員会から

### 日本文化を体験してください

ICP2016開始まで、本稿執筆時点で（いよいよ）2ヵ月を切りました。最近時は本当に飛ぶように過ぎるのを感じながら、会場・展示委員もパシフィコ横浜に何度も出向き飛びまわっています。長い事前準備も大変でしたがほぼ終わり、現在は、海外からの参加者に日本の文化に触れていただくように、会議期間中のソーシャルプログラムを詰めているところです。当初考えていたアイデアはほぼ実現可能になりました。

まず、優雅な琴演奏で始まり、若々しい踊り侍の「よさこい」でウェルカムレセプションに誘う開会式です。

コンgresディナーは、着席スタイルとビュッフェスタイルと2種類あって、その二つの会場を結ぶ広いハワイエでは、ミニ緑日のような風景も見られるでしょう。飴細工、切り絵、扇落しのコーナーがあり、空手実演も見ら

れます。グランドピアノも用意してありますから、その雰囲気のある方の飛び入り歓迎です。

「カルチャー・ルーム」では、連日、日本の文化を体験することができます。心おだやかにお茶をどうぞ。夏のお花を活けませんか？好きな字を筆で書いてみましょう。日本の着物を着ませんか、夏ですから浴衣ですね。折り紙教室でいろいろ折っているうちに、指先が器用になりますよ。

今回のソーシャルプログラムは、かなりの部分をボランティアにお願いしています。大学生のサークル、友人、横浜コンベンションビューロー登録のボランティアの皆さんなどが、外国の方々へのおもてなしを担ってくださいます。

展示ホールでは、横浜のお土産売り場も出ます。期間中のツアーは順調に申し込みが続いているようです。

本誌72号でお伝えしたコンgres・バッグも決まりました。お楽しみに！

（ICP2016会場・展示委員会委員長 野口京子）

## 日本心理学会 若手の会から

### 若手心理学者のキャンプセミナー

3月7日～8日にマホロバ・マインズ三浦にて、若手心理学者のキャンプセミナー「異分野間協働懇話会」を開催しました！若手の会として初めての合宿開催でしたので、人が集まるかな……と少し不安でしたが、28名もの若手にご参加頂きました。なんと、その内3名は学部生。早い時期からこうした機会に興味を持ってご参加くださったことに心強さを感じます。

若手の会が発足して早2年半が経ち、私たちにできることが少しずつ広がってきているような気がしています。心理学という広い分野の中で、異なる専門や職業の若手たちをどのように繋げられるのかを常に意識してきた運営委員たちが捻り出したアイデアが、今回の合宿形式で寝食を共にしながら繋がることでした。一日目は、研究成果のみならず実践活動や研究アイデアまで自由に発表できるポスター発表、そして食後はビール片手に議論を深めるナイトセッ

ション。二日目には、河原純一郎先生（認知心理学）、山崎圭子先生（生理心理学）、佐藤哲康先生（臨床心理学）と多様な分野の先生方にご講演頂きました。

初めての開催で色々不手際があったにも関わらず、参加者アンケートには「自由」と「楽しい」の二つの言葉を多く頂きました。若手の会の和気藹々とした自由で楽しい雰囲気が表れていたのかなと思うと、とても嬉しく、これからは頑張っていこうと勇気づけられました。そして、「また参加したい」とのご意見を頂いていますので、なんと……今年度も開催します！（言っちゃったら、後に引けないですね）。

また、今月開催のICP2016では若手の交流企画を予定していますので、詳しくは若手の会メーリングリストをご覧ください。

※今年度より、若手の会の企画・運営が「若手の会幹事会」に移行致しました。今後とも、ご指導ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

（若手の会代表幹事 小川健二・鈴木華子）